

ドリーマーズ サーカス

Dreamers' Circus

来日公演2024



©Soren Lynggaard Andersen

出演 ドリーマーズ・サーカス

ルネ・トンスゴー・ソレンセン Rune Tonsgaard Sørensen (ヴァイオリン)

アレ・カー Ale Carr (ギター)

ニコライ・ブスク Nikolaj Busk (ピアノ、アコーディオン)

令和6年

10月19日 土

午後2時開演
(午後1時15分開場)



船橋市民文化創造館(きららホール)

全席指定

曲目

ア・ルーム・イン・パリ: Nikolaj Busk

プレリュード・トゥ・ザ・サン (バッハ・イン・フォーク・スタイル): J.S. Bach

キッチン・ストーリーズ: Nikolaj Busk

待ち焦がれた世界: Nikolaj Busk

宮崎駿さんに捧げるワルツ: Ale Carr, Nikolaj Busk & Rune Tonsgaard Sørensen

ノース・オブ・トロンハイム: 伝統音楽/Dreamers' Circus

ほか

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合があります。

オンラインチケットシステムでのご購入はこちら!

船橋 きららホール チケット

検索

<https://piagettii.s2.e-get.jp/fnbsbkhall/pt/>

※チケット代のほか、手数料が必要な場合があります。



一般 5,000円

友の会会員 4,400円

高校生以下 1,000円

ペアチケット 9,000円

※未就学児は入場できません。

チケット
発売日時

令和6年7月16日(火)

午前10時から

※窓口発券・発売は翌日10時より

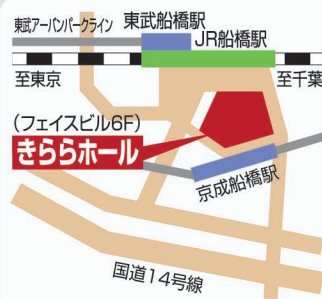
お申し込み
お問合せ

船橋市民文化創造館(きららホール) ☎047-423-7261

窓口・電話受付時間/平日9:00~20:00、土日祝9:00~17:00/毎月最終月曜休館

〒273-0005 船橋市本町1-3-1 フェイスビル6階 JR・東武 船橋駅南口、京成船橋駅東口 徒歩2分

主催: きららHall 船橋市民文化創造館、後援: デンマーク王国大使館、企画・制作・招聘: ブランクトン





©Kristoffer Juel Poulsen

Dreamers' Circus

ルネ・トンスゴー・ソレンセン Rune Tonsgaard Sørensen(ヴァイオリン)

アレ・カー Ale Carr(シタール)

ニコライ・ブスク Nikolaj Busk(ピアノ、アコーディオン)

メンバー3人とも、音楽家として数々のプロジェクトで活躍し、多数の音楽賞を受賞している北欧を代表するトップの音楽家。そんな3人が2009年にコペンハーゲンで開催されたフェスティバル後のバーで出会い、ジャム・セッションを行ったことがきっかけで結成される。その6ヶ月後、彼らはデンマークのロイヤル・アカデミー・ホールで行われたコペンハーゲン・フィルハーモニー管弦楽団とのコンサートに出演し、観客の度肝を抜いた。2010年にスウェーデン伝統音楽のバンド「ヴェーセン」のロジャー・タロスがプロデュースしたEPでデビュー、2013年にドリーマーズ・サーカスの1stアルバム『リトル・シンフォニー』を発表。デンマーク・ミュージック・アワードの主要3部門を受賞し、瞬く間にトップに躍り出る。以降もアルバムを発表する度に音楽賞を受賞し、北欧伝統音楽の最高峰バンドとしての地位を揺るぎないものにした。2016、2017、2019、2022年に来日公演を行い、2022年の東京公演では光田康典と共演。彼らが参加したゲーム『CHRONO CROSS: THE RADICAL DREAMERS EDITION』サウンドトラック(作曲: 光田康典)が大きな話題となった。スタジオジブリの宮崎駿氏とも親交があり、4作目のアルバム『ブルー・ホワイト・ゴールド』の中では「宮崎駿さんに捧げるワルツ」という楽曲を氏に捧げている。

ディスコグラフィ

『リトル・シンフォニー』(2013)

『セカンド・ムーヴメント』(2015)

『ルーフトップ・セッションズ』(2018)

『ブルー・ホワイト・ゴールド』(2020)

『Handed On』(2024年夏リリース予定)

参加作品

ゲーム

『CHRONO CROSS: THE RADICAL DREAMERS EDITION』

アナログレコード & 配信

『CHRONO CROSS: THE RADICAL DREAMERS EDITION Vinyl』

ルネ・トンスゴー・ソレンセン : ヴァイオリン



©ISHIDA MASATAKA

1983年コペンハーゲン郊外のロスキレ生まれ。コペンハーゲン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスター、デンマーク弦楽四重奏団(2018年来日、第61回グラミー賞ノミネート)の1stヴァイオリニスト。ドリーマーズ・サーカスでは、卓越した技術で美しいヴァイオリンの音色を奏でる。フェロー諸島出身のヴァイオリニストの父親を持ち、伝統音楽を愛する家庭に育ち、デンマーク王立音楽アカデミーでクラシック音楽も学ぶ。2008年カール・ニールセン国際コンクールで特別賞受賞、デンマーク王室・皇太子夫妻の「ライジング・スター賞」受賞、他多数の音楽賞受賞。デンマークで最も有名なヴァイオリン・ソリストと言われる。

アレ・カー : シタール



©ISHIDA MASATAKA

1989年スウェーデン南部のスコネ生まれ。シタールをはじめ、マンドーラ、マンドリン、ギター、フィドルなどを弾く北欧伝統音楽を代表する撥弦楽器奏者であり、作曲家。ドリーマーズ・サーカスでは、シタールでリズムを刻みアンサンブルの屋台骨を支える。伝統音楽家の家庭で育ち、家族バンド「カー・ファミリー」で活動。ストックホルムの王立音楽大学で音楽を学ぶ。18歳でヴァイオリンの「リクスベルマン」(スウェーデン国家が公式に与える、熟練した伝統音楽家の称号)となる。デンマークの重要バンド「バスコ」、フィンランドのフィドラー「エスコ・ヤルヴェラ」とのデュオなど、多数のプロジェクトで活躍。デンマーク・ミュージック・アワードを10回以上受賞とノミネート。

ニコライ・ブスク : ピアノ、アコーディオン



©ISHIDA MASATAKA

1982年生まれ。デンマークの伝統歌やルイ・アームストロングやビートルズを聴いて育つ。コペンハーゲンのリトミック・アカデミーで学ぶ。作曲家として引っ張りだこであり、コペンハーゲン・フィルハーモニー管弦楽団、多数のアンサンブル、合唱団、劇場公演のための曲を書いている。ジャズ・ミュージシャンでもあり、ドリーマーズ・サーカスでは都会的な響きを加えている。デンマークで人気の伝統音楽バンド「トリオ・ミオ」、ジャズ&伝統音楽家「ビャルケ・ファルグレン」とのデュオ、ジャズ&ボサノヴァのグループ「ブルー・ライフ」、スコットランドのフィドラー「ハル・パーフィット・マレー」とのデュオなど、多数のプロジェクトでも活躍し、デンマーク音楽家として認知されている。デンマーク・ミュージック・アワードを13回以上受賞。